



# ペットボトル削減

GE-NET20 Premier Group4

## 背景と目標

私たちのグループは「環境」に軸をおき、特にペットボトルごみの削減に向けて活動をしています。

活動を行う中で、

- ・給水機の見える化
- ・水筒の持ち運び促進

を目標にイベントや給水機ロゴの作成を行います。

日本でのプラスチック年間排出量は年間 800 万トンにも及び、地球温暖化などに繋がります。そのため、私たちは、特にプラスチックごみ問題に着目し、特に私たちにとって身近であるペットボトルごみの削減を目標とし、給水機の認知度向上に取り組んでいます。アメリカでの様々な活動や、行政や大学の環境イベントへのブース出展などを行っています。

## 活動内容

- ①アンケートの実施
- ②関連団体との提携・協力  
千代田区環境政策課 在ニューヨーク日本総領事館 東京大学 GXSN  
法政大学 SASH/PtoB WAcKA BRING Refill Japan mymizu  
NYC Mayor's office of Climate & Environmental Justice
- ③給水機用ロゴ作成
- ④イベント開催  
(i) 11/8 ちよだ環境フェア  
(ii) 11/19 法政大学ミニ万博  
(iii) 11/22 高輪ワークショップ
- ⑤デコ活宣言（環境省）
- ⑥SDGs 甲子園出場
- ⑦エコチル調査環境省大臣官房 環境保健部 化学物質安全課長賞



## アンケートの実施

私たちは本校生徒やイベントの参加者に給水機に関するアンケートを行い、給水機に対するイメージや利用経験などの意見を集めてきました。また、実際に私たちのイベントの価値や、作成した給水機ロゴの投票もアンケートの中に入れることで、私たちの活動を客観的に見ることができ、その有意性を確認することができました。



## イベント内容

私たちのイベントでは、水の飲み比べと水筒ホルダーの作成を行いました。

水の飲み比べでは、給水機からとった水とペットボトルのミネラルウォーターの二種類を飲み比べて、より美味しいと感じたほうに投票してもらいました。これにより、給水機を使うことへの抵抗感を減らし、さらに、美味しい水を供給することができるという魅力も感じてもらえます。

水筒ホルダーは使用済みのTシャツから糸を作り、それを編んでもらうという体験型ワークショップを開きました。この方法で、おしゃれて持ち運びやすい水筒ホルダーをわずか一時間ほどで作ることができ、小さい子供から年配の方まで楽しんでいただけます！

## イベント開催実績

千代田区役所の方にご協力いただき、11月に開催された千代田環境フェアに2ブース出展しました。

一つは水筒ホルダーワークショップのブースです。ここでは準備していたTシャツヤーンの糸が午前中に終わってしまうくらい多くの人に体験していただきました。また、同ブースでは活動内容の紹介も行えたので、学校外の方に私たちの活動やGE-Netについて知っていただけるよい機会となりました。また、もう一つのブースは、環境フェアで行われていたスタンプラリーのスタンプポイントを置いてもらうと同時に水の飲み比べも行いました。飲み比べには約80人の方に参加していただき、46対37で給水機のほうがおいしいと答えてくれた人のほうが多かったです。

私たちと同じく、給水機の普及に取り組んでいる学生団体SASHの方のご協力で一日、水筒ホルダーワークショップを開催しました。このイベントでは千代田環境フェアでは得られなかった、大学生の参加があったことでとても有意義なものになりました。

### ③高輪ワークショップ

再生衣料に取り組んでいらっしゃるWAcKAさんとBringさんと提携して、NEWoman高輪で水筒ホルダーワークショップを開催しました。私たちが実施したイベントの中で最大で、幼稚園くらいの子からご年配の方まで60人以上に参加していただきました。中には私たちのグループの活動に興味を持ったため参加してくださったり、作り方をレクチャーしている間に活動紹介も行ったことで関心を持ってくださった方も多かったです。

